

## 豚インフルエンザ ② 2009年4月27日 14時

豚インフルエンザの患者(疑い)数が増大しています。

4月27日14時の時点で、シンガポール国内に患者(疑いを含む)発生の報告はありませんが、今後、国内への侵入は必死の情勢と考えられます。

空港では全ての到着客に対し、体温スキャナーによるスクリーニングを27日朝8時より実施しています。

現時点でメキシコ、アメリカ、カナダ、イギリス、フランス、ニュージーランド、イスラエルから帰国された方で、風邪のような症状がある方がいらっしゃいましたら、以下のことを実施して下さい。

①マスクを装着する。

②医療施設に電話連絡し指示を受ける。あわてて医療施設に行くことは決してなさらないで下さい。(その方が、本物の感染者だった場合に、医療施設で感染が広まってしまううえ、その医療施設も閉鎖となってしまう可能性があるからです。)

電話連絡を受けて医療施設では、準備をしてお待ちします。

**\*日本人会クリニックを受診される場合には、下記の事をお願いさせていただきたいと存じます。**

1. まず、来院される旨をご一報下さい。電話番号は**64670070(日本語ライン)**です。

なるべく、自社会社の車で**マスクを着用の上**、御来院下さい。**バスや地下鉄などは決して使わないで下さい。**

### 2.ご自身で車を運転されて御来院の場合

地下の駐車場に到着されましたら、携帯電話にてクリニック(64670070)までお電話下さい。係りのものが伺うまで車内で待機しててください。

うまくつながらない時には、クリニック入り口のインターフォンまたは携帯を利用いただき、到着された旨ご連絡をください。

### 3.運転手付の車やタクシーでの御来院の場合

運転手付きの車で御来院の場合には、車の窓を開けてご乗車下さい。車のナンバーと運転手の名前を記録しておいてください。

感染を広めないという観点から、タクシーでの御来院はなるべく避けて頂きたいですが、バスや地下鉄が使用できない以上、タクシーを使わざるを得ないことがあります。

マスク着用の上、必ず、窓を開けてご乗車下さい。利用したタクシー会社の名前、タクシーのナンバー、可能なら運転手の名前を記録しておいてください。(領収書を発行してもらえれば簡単です。)

日本人会会館正面に到着されましたら、日本人会館1階のクリニックの入り口にインターフォンが設置されていますので、到着した旨をお知らせ下さい。使い方が不明でしたら、携帯電話にて64670070まで御連絡下さい。係りの者が伺うまで其処で待機して下さい。

少しでも感染を防止するために、皆様のご理解とご協力が必要です。どうぞよろしくお願い申し上げます。ご不明な点がございましたら、ご遠慮なくクリニックまでお問い合わせ下さい。

日本人会クリニック 日暮 浩実